

令和 8 年度

事業計画書

事業計画書

本 部

中 央 保 育 園

高 千 穂 乳 児 保 育 園

天 神 の 森 き ら ら 保 育 園

波 島 保 育 園

住 吉 中 央 保 育 園

広 原 保 育 園

住 吉 東 保 育 園

富 吉 保 育 園

住 吉 南 保 育 園

児 童 養 護 施 設 み ん せ い か ん

救 護 施 設 す み よ し

1. 基本理念 = キラキラかがやくひとみ =

- ・利用者の方々にあふれる笑顔で対応し、
キラキラかがやくひとみになれるサービスを提供します。
- ・地域とより良い関係を築き、
キラキラかがやくひとみであふれる地域づくりに貢献します。
- ・全ての職員が仕事にやりがいを感じ、向上心を持ち、
キラキラかがやくひとみで働ける法人であり続けます。



2. 中期計画 (令和5年度～令和8年度)

基本理念に基づいて法人の方針・目標・方策を掲げ、中期計画を策定しています。

方針	信頼される	地域に根ざす	組織力のある
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスを基本とし、福祉の心をもって継続的かつ安定した法人経営を行います ・利用者の人権を尊重し、最善の処遇に務めます 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と共に歩み、地域に必要とされる法人を目指します ・地域社会のニーズを的確にとらえ、積極的な社会貢献を行います 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての職員が宮崎福祉会の一員であることを自覚し、お互いを認め合い信頼しあえる法人を目指します ・常に向上心をもち、個々の能力を発揮できる活気あふれる職場づくりを目指します
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者としての役割遂行 ・コンプライアンスの徹底 ・組織統治の強化 ・健全で安定的な財務基盤の確立 ・人権の尊重 ・サービスの質の向上 ・安心安全の環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生社会の推進 ・信頼と協力を得るための積極的なPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の採用に向けた取り組みの強化 ・中長期的な人材戦略の構築 ・人材の定着に向けて取り組みの強化 ・人材の育成に向けた取り組みの強化
SDGs			

3. 事業計画

中期計画に基づき、法人共通の重点課題及び各施設ごとの重点課題を掲げ、課題を解決するための具体的な取り組みを令和8年度事業として計画し、事業実施に努めます。

< 本 部 >

方 針

方針	重点課題	具体的取り組み
信頼される法人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の（令和5年度～令和8年度） ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人としてのミッションとビジョンに基き地域の福祉ニーズへの対応と事業存続のために事業の多角化・多機能化を図ります 2. BCPに基づく訓練を行い、災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にして見直しを行います 3. 経営者が遵守すべき法令、社会的ルール、社会福祉関係・労務関連・虐待防止法等の適切な理解を促す場の提供に努め、遵守の重要性を普及・啓発します 4. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取り組みを行います 5. 虐待、身体拘束などを決して容認せず、根絶するための取り組みを行います 6. 業務マニュアルや、可能なものの業務の標準化共有化を図り、全職員に周知・教育し運用します 7. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用等に関する必要な知識を有するための取り組み及び職員に対するコスト意識を醸成する取り組みを行います 8. 適切な収益性の確保に向け、将来を見通した計画的かつ効率的な事業運営を行います
地域根ざす法人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取り組み ・ 地域の安全・安心への取り組み ・ 地域を活性化する取り組み ・ 地域から信頼される情報発信 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内外でセーフティーネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 地域共生社会の実現を主導することが社会福祉法人の役割であることを認識できる取り組みを行います 3. 地域のニーズや法人の実情等に応じた未来志向の事業展開を図るうえで、「社会福祉推進法人」「合併」も選択肢としてあることを理解し、地域福祉の推進を図ります 4. 地域の行事に参加し、地域活性化を意図した取組みを推進します 5. 法人事業の安定的かつ発展的な継続に必要な事業計画や資金計画を立案し、積極的な情報発信を行います 6. 障がいを持つ方々の生活支援・自立支援の役割を担った障がい者グループホーム等を設置します
組織力のある法人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な採用ツールを用意し、効果を検証しながら採用活動を実施します 2. 職員の間人間関係を良好にし、かつ維持していくための組織風土づくりの重要性を認識する機会を設け、風土づくりに取り組みます 3. 多様な職種、勤務形態の職員が相互に連携を図れるよう取り組みます 4. ハラスメント関係規程の職員への周知・教育の実施、及び相談窓口担当者の教育を行いながら防止策を講じます 5. 職員の研修・リーダー層の財務管理能力の教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 6. 目指すリーダー像を明確に示し、指導的職員・リーダー層の育成を図ります 7. 業務効率化のための環境整備（ICT等の活用）を図ります 8. 生産性の向上を図るための課題を職員と共有し、取り組みます 9. ワークライフバランス（仕事と生活の両立）に配慮した取り組みを行います

行事予定

月	法人行事	月	地域行事等
4月	法人内研修(新人職員)	4月	
5月	管理監督者研修	5月	
6月	法人内監査、理事会、評議員会、事務研修会	6月	就職フェア参加
7月		7月	市民総踊りへの参加
8月	第三者委員会	8月	福祉の仕事就職面接・説明会参加
9月	全体研修会	9月	
10月		10月	
11月	理事会、シェイクアウト(災害時法人合同訓練実施)	11月	
12月	法人内期中監査	12月	
1月	人事ヒアリング	1月	
2月	理事会、第三者委員会	2月	
3月	新規採用者説明会、理事会、退職辞令交付式、辞令交付式	3月	
月例	施設長会(奇数月)、施設長勉強会	月例	
随時	制度委員会・研修委員会・広報委員会(施設長)・各種勉強会(職務毎) イベント企画委員打合会・つながり担当者打合会・BCP策定委員会(職員) メンタルケア、各種法人内研修、内定者説明会	随時	就職説明会等への参加、学生向け施設見学、 法人情報誌の配布、学生ボランティアの活用 地域清掃

役職員に関する事項

月例	職員会議、ノー残業デーの実施
随時	法人内外研修会参加、法人内イベント参加、法人内各施設の行事参加、全国社会福祉法人経営青年会会議等への参加、職員健康診断、職員旅行、職員との面談

施設整備

- ・会議室修繕
- ・障がい者グループホーム等の設置計画

＜ 中 央 保 育 園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重 点 課 題	具 体 的 取 り 組 み
信 頼 さ れ る 保 育 園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤を確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の福祉ニーズへの対応(誰でも通園制度)と事業存続のために未来志向で事業の多角化・多機能化を図ります 2. BCPを基に、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にして見直しを行います 3. 研修に積極的に参加する等経営者が遵守すべき法令、社会的ルールの変更について情報収集を行います 4. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 5. 役職員に対する社会福祉関係法令、労務関連法令、虐待防止法等の適切な理解を促す場の提供に努め、社会的ルールの遵守の重要性を普及・啓発を行います 6. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 7. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認識し、認め合う取り組みを行います 8. 利用者のプライバシーや個人情報を保護し、信頼性の高い福祉サービスの提供を継続します 9. リスクマネジメント体制を構築する等組織的に福祉サービスの質の向上に取り組みます 10. 業務マニュアルの整備や、可能な物の業務の標準化共有化を図り、全職員に周知・教育し運用します 11. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用等に関する必要な知識を有するよう努めます 12. 職員がコストに対する意識(大事に使用する、節約する等)をしっかりと持てるよう努めます
地 域 に 根 ざ す 保 育 園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取り組み ・ 地域の安全・安心への取り組み ・ 地域から信頼される情報発信 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内外でセーフティーネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 生活困窮者支援に取り組む事を責務とする職員の意識向上や理解を目的とした園内外の研修に参加します 3. 地域の教会や自治会等と情報を共有し、協力関係を築いていきます 4. 地域サロンや協議会に参加し、情報の発信、共有、連携を図ります 5. 地域の子育て世代や高齢者等、地域住民が交流する場を積極的に提供します 6. 福祉サービスを提供する施設として近隣住民の理解・協力が得られるよう日常的なコミュニケーションを図ります 7. 地域の児童・生徒(不登校気味など)が気兼ねなく来れる居場所や環境を作り、みんなで支えます 8. 災害時に地域への提供が可能な物資等(AED設置・井戸水等)の情報など、安心・安全の取り組みを発信します 9. 子育て支援等の情報を積極的に発信します
組 織 力 の あ る 保 育 園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、かつ維持していく為の組織風土づくりの重要性を認識する機会を設け、関連する取り組みを行います 2. 風通しの良い職場の人間関係の構築、維持に努めます 3. 多様な職種、勤務形態の職員が相互に連携を図れるように取り組みます 4. 新任職員や実習生を丁寧にフォローし、やり甲斐や楽しさが感じられるように職場環境を整えます 5. 職員それぞれが得意分野で活躍できる職場づくりに努めます 6. ワークライフバランス(仕事と生活の両立)に配慮した取り組みを行います 7. コミュニケーションの取りやすい環境を整え、悩みや困難を相談できる雰囲気作りに努めます 8. 職員の研修(キャリアアップ研修を軸に)・教育を充実させ、次世代の経営層を育成できるよう、周知し取り組みます 9. 高い専門性と倫理性を醸成していく為の園内外の研修に積極的に参加します 10. 管理職や指導的職員のリーダー層の育成を重視し、計画的にすすめます

行事予定

月	中央保育園行事	月	地域行事等
4月	入園・進級式	4月	
5月	ふれあい運動ひろば・個人面談(年間計画として実施)	5月	
6月	交通安全教室	6月	
7月	プール開き・ちびっこ夏まつり	7月	ちびっこ夏まつり(小学生・地域の方々との交流)
8月	プール納め	8月	
9月	敬老交流会	9月	敬老交流会(地域交流)・山形屋イベント参加(5歳児)
10月	なかよしふれあい遠足(3・4・5歳児)	10月	赤い羽根共同募金活動(5歳児)
11月	ひかり輝け楽しい発表会	11月	
12月	クリスマス会・餅つき	12月	中央西地区福祉祭り参加(5歳児)・歳末助け合い募金活動(5歳児) 郵便局年賀状イベント参加(5歳児)・餅つき(地域交流)
1月	保育参加week(未満児)・コスモランド教室(5歳児)	1月	
2月	保育参加week(以上児)・豆まき・2歳児面談・就学前交通安全教室	2月	バレンタインコンサート(地域交流)
3月	卒園式・修了式・お別れ遠足・お別れ会	3月	地域公園ゴミ拾い
月例	お弁当の日・発育測定・お誕生会・防災、防犯訓練・英語であそぼう、お歌であそぼう(3・4・5歳児) 和太鼓(4・5歳児)・スポーツ教室(3・4・5歳児)・スイミング教室(4・5歳児希望者)・文字あそび(5歳児)	月例	子育て支援こもれび広場(第1・3火曜日)・園庭解放(第2・4火曜日) 地域回覧板園便り配布
随時	健康診断(年2回)・歯牙健診(年1回)・尿検査(年1回) 消防点検・衛生害虫駆除・園外保育・クッキング(5歳児)	随時	園庭開放・一時預かり保育・学童保育・まち探検(西池小) 体験学習(中学生・高校生)・ボランティア・実習生受け入れ

職員に関する事項

月例	職員会議、保育会議、給食会議、腸内細菌検査、園舎内外の安全点検
随時	園内研修(年10回)、研修報告会、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、地域ごみ拾いボランティア、職員健康診断、職員旅行

利用定員

125 人	内訳	2号定員(3～5歳)	67 人	3号定員(1.2歳)	48 人	3号定員(0歳)	10 人
-------	----	------------	------	------------	------	----------	------

保育時間

標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～8時
保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4～5時

地域子ども・子育て支援事業

・延長保育事業(午後6時～午後8時) ・一時預かり保育事業 ・障がい児保育 ・学童保育 ・育児相談

施設整備

・園内、園庭修繕 ・空調分解洗浄 ・床面ワックス塗布 ・パソコン購入 ・避難車購入

〈たかちほ保育園〉

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の福祉ニーズへの対応と事業存続のために、事業の多角化・多機能化を図ります 2. BCPに基づく訓練を行い、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にして見直します 3. 安心・安全な園舎内外の設備環境の確認、整備を行います 4. 研修に積極的に参加するなど経営者が遵守すべき法令、社会的ルールの変更について情報収集を行います 5. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 6. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 7. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取組みを行います 8. 利用者のプライバシーや個人情報を保護し、信頼性の高い福祉サービスを提供します 9. リスクマネジメント体制を構築する等組織的に福祉サービスの質の向上に取り組めます 10. 職員に対してコストの意識を醸成するための取組みを行います
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取組み ・ 地域の安全・安心への取組み ・ 地域の信頼と協力を得られるような機能の活用 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内でセーフティネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 支援が必要なケースに対して関係機関と連携し取組みを進めます 3. 福祉サービスを提供する施設として、近隣住民の理解・協力が得られるよう、日常的なコミュニケーションを図ります 4. 災害時、緊急時の避難場所とし、安全・安心な生活の場の確保、備えに取り組めます 5. 嘱託医や医療機関と連携を取りながら子どもの健やかな育ちを推進します 6. 地域児童福祉部会での意見交換、研修等に積極的に参加し、情報発信・連携・協力を図ります 7. 地域の行事・子育て支援・小学校参観時の預かり保育等に積極的に参加、協力します
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、かつ維持していくための組織風土づくりの、関連する取組みを行います 2. 風通しの良い職場の人間関係の構築、維持に努めます 3. 新任職員への丁寧なフォローや能力を發揮できる機会や取組みを行います 4. ワークライフバランス(仕事と生活の両立)に配慮した取組みを行います 5. 休憩時間の体制づくりをみんなで考え、より工夫し取組みます 6. 職員の研修・教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 7. 様々な能力を發揮し活かせる職場づくりに取り組めます 8. 新任研修をプログラムに沿って計画的に行うとともに、全職員の学び・振り返りの機会として充実を図ります 9. 管理職や指導的職員のリーダー層の育成を重視し取組みます 10. 業務効率化のための環境整備、進捗(ICTの活用)を図ります

行事予定

月	たかちほ保育園行事	月	地域行事等
4月	入園、進級おめでとう会、春の親子遠足	4月	江平小学校の参観時預かり保育、中央東児童福祉部会会合
5月	内科健診、野菜の苗植え、家族ふれあいうんどう広場(親子)	5月	
6月	尿検査、歯科検診、洪水訓練、個人面談(全園児)	6月	
7月	プール開き、交通安全教室、保育参加日	7月	中央東児童福祉部会会合
8月	防災通報・消火訓練、おまつりごっこ、プール納め	8月	おまつりごっこ(小学生交流)
9月	おじいちゃんおばあちゃんとの交流会(年長児)	9月	
10月	秋の遠足(芋ほり)、ハローウイン	10月	中央東児童福祉部会会合
11月	シェイクアウト参加、内科健診、お仕事ご苦労様訪問、えがおいっぱい発表会	11月	
12月	クリスマス会、お餅を作ろう	12月	中央東児童福祉部会子育て支援(3世代交流)
1月	お正月あそび、保育参加週間	1月	中央東地区研修会
2月	豆まき、防災通報・消火訓練、うんどう遊び見学(保護者)	2月	
3月	ひな祭り会、卒園お別れ会、卒園・修了おめでとう会、新年度説明会	3月	中央東児童福祉部会会合
月例	うんどうあそび教室(1～5歳児)、防災訓練、誕生会、身体計測、スイミング(4.5歳児希望者)・・・月2回	月例	地域交流室提供(感染症状況により不可有)
随時	園外保育、防犯訓練、個別面談、エコ活動、キッズアワー参加、クッキング	随時	江平小学校の参観時預かり保育、児童福祉部会ボランティア・実習生受け入れ、子育てサロン参加

職員に関する事項

月例	職員会、クラス検討会、給食検討会、遊具・園内外の安全点検、腸内細菌検査、防災備品点検、園舎内外の防除殺菌
随時	研修報告会、職員健康診断、職員旅行、法人内イベント参加、園内・法人内外(リモート含)研修参加、園周辺ごみ拾い、感染対策消毒・除菌、玩具消毒

利用定員

50 人

内訳

2号定員(3.4.5歳)

28 人

3号定員(1.2歳)

16 人

3号定員(0歳)

6 人

保育時間

標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
保育短時間	午前8時30分～午後4時30分(8時間)	延長保育時間	午後4時30分～5時30分

地域子ども・子育て支援事業

・ 延長保育事業 ・ 一時預かり保育事業 ・ 学童保育 ・ 障がい児保育事業 ・ 育児相談事業

施設整備

・ 園舎内外施設整備 (3F青空テラス床面修繕、柵設置・門の電子錠設置)

＜ 天神の森きらら保育園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育を充実 ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統一した虐待・感染症・アレルギーに関するマニュアル等を、全職員に周知・教育し運用します 2. BCPに基づく訓練を行い、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象をあらゆる角度から想定し地域との連携を密にすることで、協力体制を構築します 3. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い全職員に周知・教育し運用します 4. 研修に積極的に参加するなど経営者が遵守すべき法令、社会的ルールの変更について情報収集を行います 5. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 6. 認識を深めるよう、人権教育研修等に参加します 7. 利用者のプライバシーや個人情報を保護し、信頼性の高い福祉サービスを提供します 8. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用等に関する必要な知識を有するよう努めます 9. 職員がコストを意識して働けるよう取り組みます
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設機能の活用 ・ 地域を活性化する取り組み ・ 地域から信頼される情報発信 ・ 地域の安全・安心への取り組み ・ ボランティアの育成と活動支援 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宮崎大好き活動を行い、地域・文化・伝統を知り共に育つ心を、職員・子ども・保護者に発信します 2. 自治会に加入し地域交流を行います 3. 天神山の清掃(月1回ちびっこ天神山守り隊活動)、定期的な花育活動と共に地域交流を行います 4. 地域にある施設との交流をします(施設訪問・宮崎天満宮・妙経寺等) 5. ホームページ等で園の取り組みや子育て情報など地域発信に努めます 6. 災害時など地域の避難所として開放し、食料備蓄を行います 7. 小学校・中学校・高校生との交流を行い共に育つ生きる力を育む活動を行います 8. 園庭開放デーを設け地域等の保護者支援に努めます 9. 公民館に法人情報誌等置いてもらい、周知・理解をすすめます
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の健康と安全を確保 ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 人材育成制度を構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. パワーハラスメントの防止策、対応策を周知し、職員教育を行います 2. 職員の心身の健康維持と労災防止に取り組み、働きやすく相談しやすい環境づくりに努めます 3. 業務内容効率化のためのICT化を積極的にすすめます 4. ボランティア・実習生むけのマニュアルを周知し基本姿勢を明文化していきます 5. 積極的な情報発信に努め福祉の仕事啓発に努めます 6. 短時間労働等の雇用時間や形態を工夫し、多様な働き方ができるように対応していきます 7. 職員が将来の姿を描くことができるような仕組み作りに取り組みます 8. 管理職・リーダー層の研修に積極的に参加します 9. 休憩時間を確保できるよう、職員間の認識を一致させ皆で声を掛け合い工夫し取り組みます

行事予定

月	天神の森きらら保育園 行事	月	地域行事等
4月	入園・進級式、桜ランチ(天神山)	4月	花まつり参加(妙経寺)
5月	運動会、健康診断、尿検査	5月	
6月	歯科検診、花育、交通安全教室	6月	天神山花植え(大淀まちづくり委員会)
7月	プール開き、夏祭り	7月	宮崎天満宮夏まつり
8月	プール納め、夏の食育	8月	水かけ地藏まつり参加
9月	十五夜さま、総合防災訓練、敬老会	9月	
10月	発表会、健康診断、芋ほり	10月	ひむかカルタ大会参加
11月	七五三参拝、青島の旅、職場訪問、保育参加(未満児)	11月	天神山花植え(大淀まちづくり委員会) 七五三詣り(妙経寺・天満宮)
12月	餅つき、クリスマス会、街探検	12月	大淀小ふれあいまつり
1月	お正月あそび、コスモランド教室、保育参加(以上児)	1月	お正月詣り(妙経寺・天満宮)、大淀小1年生との交流会
2月	豆まき、空港探検	2月	
3月	ひな祭り、お別れ遠足、お別れパーティー、卒園・修了式、就学前指導	3月	初午祭(稻荷神社)
月例	誕生パーティ、避難訓練、身体計測、弁当の日、スポーツ教室(2~5歳児) 英語遊び(4, 5歳児)・硬筆教室(年長組1月~3月)スイミング教室(3~5歳児希望者)	月例	ちびっこ天神山守り隊(ゴミ拾い)
随時	園外保育、クッキング保育、健康診断、歯科検診、尿検査、プランター菜園 絵本貸出、園舎内外消毒 実習生受入れ(宮崎医療管理専門学校・宮崎学園短期大学・九州保健福祉大学等)	随時	施設訪問(ほのぼの天満) ボランティア受入れ

職員に関する事項

月例	職員会議、給食検討会、腸内菌検査、遊具・園舎内外安全点検、天神山・園周辺清掃
随時	研修報告会、絵本紹介(読み聞かせ)、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、天神山ごみ拾い、職員健康診断、職員旅行 防犯訓練(不審者対策訓練)

利用定員

70 人

内訳

2号定員(3~5歳)

44 人

3号定員(1.2歳)

20 人

3号定員(0歳)

6 人

保育時間

標準時間	午前7時00分 ~ 午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時 ~ 7時
保育短時間	午前8時00分 ~ 午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時 ~ 8時、午後4時 ~ 6時

地域子ども・子育て支援事業

・延長保育事業

・一時預かり保育事業

・障がい児保育事業

・学童保育事業(自主)

・育児相談

施設整備

・パソコン、タブレット購入

・デジタルカメラ購入

・園舎内外施設整備

＜ 波 島 保 育 園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の福祉ニーズへの対応と事業存続のために未来志向で事業の多角化・多機能化を図ります 2. BCPに基づく訓練を行い、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にして見直しを行います 3. 研修に積極的に参加するなど経営者が遵守すべき法令、社会的ルールの変更について情報収集を行います 4. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 5. 役職員に対する社会福祉関係法令、労務関係法令、虐待防止法等の適切な理解を促す場の提供に努め、社会的ルール遵守の重要性を普及・啓発を行います 6. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取り組みを行います 7. 虐待・身体的拘束などを容認せず、根絶するための取り組みを行います 8. リスクマネジメント体制を構築する等組織的に福祉サービスの質の向上に取り組みます 9. 利用者のプライバシーや個人情報を保護し、信頼性の高い福祉サービスを提供します 10. 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取り組み ・ 地域の安全・安心への取り組み ・ 地域を活性化する取り組み ・ 地域から信頼される情報発信 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内外でセーフティーネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 福祉サービスを提供する施設として、近隣住民の理解・協力が得られるよう、日常的なコミュニケーションを図ります 3. 災害時、地域の避難場所として開放するとともに備蓄の充実を図っていきます 4. 小中学校・高校生の職場体験の受け入れ機会を充実させ、保育の仕事の魅力を発信していきます。 5. 支援が必要なケースに対して関係機関と連携し取り組みを進めます 6. 園庭開放や子育て交流・育児相談等の体制づくりを充実させ、多くの人に活用してもらえよう地域通信や地域の交流を通して情報発信をしていきます 7. 障害児の受け入れや、課題の多い家族のいる利用者の受け入れ等、他法人との連携を通じて援助を行います
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 風通しの良い職場での人間関係の構築、維持に努めます 2. 採用3年未満の職員への丁寧なフォローを行い能力を発揮できる機会や取り組みを行います 3. ハラスメント関係規程を整備し、職員への周知・教育の実施、相談窓口関係者の教育を行いながら防止策を講じます 4. ワークライフバランス(仕事と生活の両立)に配慮した取り組みを行います 5. 休憩時間の体制づくりをみんなで考え、より工夫し取り組みます 6. 職員の研修・教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 7. 様々な能力を生かせる職場づくりに取り組みます 8. 職員の心身の健康維持と労災防止に取り組みます 9. 業務の内容・流れを見直し、役割分担して協力体制づくりに取り組みます

行事予定

月	波島保育園 行事	月	地域行事等
4月	入園・進級おめでとう遠足	4月	
5月	交通安全教室、お花見ハイキング、園児健康診断	5月	ごみ拾い活動
6月	家族ふれあい運動会、保育参加週間、歯牙検診	6月	
7月	プール開き	7月	
8月	夏まつり、プール納め	8月	波島地区夏まつり、1年生(卒園児)交流会
9月	総合防災訓練、お月見クッキング、科学技術館	9月	
10月	青島探検、園児健康診断	10月	東小学校合同避難訓練
11月	シェイクアウト参加、生活発表会、育成牧場、芋ほり	11月	東大宮地区総合文化祭、中学生職場体験
12月	劇団鑑賞、クリスマス会、	12月	ごみ拾い活動 ・なみしまサロン(保護者交流)
1月	保育参加週間	1月	海幸・山幸の旅(姉妹園交流)
2月	豆まき会、お花見ハイキング、縄跳び大会	2月	小学校訪問(小学生との交流会)
3月	ひなまつり会、卒園式、お別れ会、お別れ遠足、修了式、	3月	
月例	誕生会、弁当の日、身体計測、防災訓練 3・4・5歳児・ 体育遊び、英語で遊ぼう、おうたの広場 5歳児…和太鼓、エイサー、硬筆 4.5歳児…スイミング、フッ素洗口(月～金)	月例	園庭開放(火曜日)
随時	食育活動(簡単クッキング)、ペットボトルキャップリサイクル活動、古着deワクチン活動 健康診断(年2回)・歯科検診(年1回)・尿検査・絵本貸出し	随時	実習生受入れ・ボランティア受入れ、中学生職場体験学習受入れ

職員に関する事項

月例	職員会(リーダー会)、園内研修、腸内細菌検査、園舎内外の安全点検
随時	保育環境講座研修参加、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、職員健康診断、職員旅行、地域のゴミ拾い

利用定員 100 人

内訳	2号定員(3～5歳)	56 人	3号定員(1.2歳)	41 人	3号定員(0歳)	3 人
----	------------	------	------------	------	----------	-----

保育時間	標準時間	午前 7 時 00 分 ～ 午後 6 時 00 分 (11時間)	延長保育時間	午後6時00分 ～ 7時00分
	保育短時間	午前 8 時 00 分 ～ 午後 4 時 00 分 (8時間)	延長保育時間	午後4時00分 ～ 5時00分

地域子ども・子育て支援事業 ・延長保育事業 ・一時預かり保育事業 ・休日保育事業 ・障がい児保育事業 ・学童保育事業

施設整備 ・園舎内外施設整備

＜ 住吉中央保育園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国や地域の将来を考慮し、社会福祉法人としてのミッションとビジョンに基づいて事業の将来性・継続性を見通した経営に務めます 2. 地域の福祉ニーズへの対応と事業存続のために未来志向で事業の多角化・多機能化を図ります 3. BCPに基づく訓練を行い、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にし継続的に取り組みます 4. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 5. 役職員に対する社会福祉関係法令、労務関係法令、虐待防止法等の適切な理解を促す場の提供に努め、社会的ルール遵守の重要性を普及・啓発を行います 6. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 7. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取り組みを行います 8. 業務マニュアルの整備や可能なものの業務の標準化共有化を図り全職員に周知・運用します 9. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用等に関する必要な知識を有するよう努めます
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取り組み ・ 地域の安全・安心への取り組み ・ 地域を活性化する取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内でセーフティーネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋げると共に掲示物やチラシ等でも周知を図る。 2. 生活困窮者支援へ向けた職員の意識向上・理解を目的とした、園内外の研修へ積極的に参加します 3. 地域共生社会の実現を主導することが社会福祉法人の役割であることを認識できるよう取り組みます 4. 福祉サービスを提供する施設として、近隣住民の理解・協力が得られるよう、日常的なコミュニケーションを図ります 5. 災害派遣福祉チーム(DWAT)への登録・育成を行い、園全体への周知・理解を深め、体制作りを構築します。 6. 園・法人の様々な取り組み(セーフティーネット・おたすけハウス・赤ちゃん駅・AED設置・ぴかぴか住吉活動等)園の様子を発信し回覧板やHPの他にスーパー等PR方法を広げ周知を図ります 7. 子育て支援“にこにこ広場”の継続的な取り組みと、児童館と連携して広く地域の子育て支援に努めます 8. 配慮の必要な子どもや子育てに不安を感じている家庭の支援やサポートを積極的に行います
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、かつ維持していくための組織風土づくりの重要性を認識する機会を設け、関連する取り組みを行います。又少しの時間でも子供から離れ職員同士のコミュニケーションを図る場を設けます。 2. 風通しの良い職場の構築、維持に務め働きがいのある、魅力ある職場づくりを更に進めます 3. ハラスメント関係規程を整備し、職員への周知・教育の実施、相談窓口担当者の教育を行いながら防止策を講じます 4. ワークライフバランス(仕事と生活の両立)に配慮した無理のない働き方を“おたがいさま”の心で更に充実させ、取り組んでいきます 5. 職員向けの体操やストレッチを行う時間を確保し職員の健康維持事故防止に取り組みます 6. 職員の研修・教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 7. 人材育成担当職員を中心にリーダー職員が課題を共有しながら園全体で人材育成に取り組みます 8. 主任・副主任が連携し、主体的・自立(自律)的なリーダーの育成に努めます 9. 環境整備 (ICTの活用)や年間行事の内容を見直し、更なる業務の効率化に努めます

行事予定

月	住吉中央保育園行事	月	地域行事等
4月	入園・進級おめでとう親子遠足(市民の森)・春と遊ぼう(白山神社)	4月	
5月	健康診断、さあ出かけよう(公園・周辺散策 等)音楽コンサート	5月	
6月	大淀川学習館探検、歯牙検診	6月	
7月	プール開き、保育参加週間 ※ 保育参加週間 (6月～9月の希望日参観)	7月	七夕交流(住之江荘)
8月	デイキャンプ(5歳児)	8月	住吉夏祭り参加、遊びにいらっしやい1年生!!(卒園児)
9月	総合防災訓練、お月見	9月	総合防災訓練(地域) ・介護施設住之江荘レインボー訪問
10月	にこにこ運動会、秋の遠足(天神山・フローランテ)	10月	小・中学生保育体験交流会(職員の子供・孫)、秋祭り参加
11月	芋掘り、交通指導、さくら組親子遠足(遊古館)	11月	住小4年生体験交流、住吉地区文化祭参加 ・シェイクアウトへの参加(地域・中学校)
12月	わくわくドキドキ発表会、焼いもパーティー、もちつき	12月	もちつき(地域交流) ・観劇会交流(姉妹園)
1月	お正月あそび、凧揚げ(住吉公園)、育成牧場(列車)	1月	
2月	春を探しに(公園・周辺散策 他) ・空港探索 ・コスモランド教室	2月	豆まき交流(地域・さくら祖父母)
3月	ひな祭り、お別れパーティー、卒園・修了式、ゆっくり歩こう会(動物園・西都原)	3月	
月例	誕生会、防災・防犯訓練、身体計測、お弁当の日、ノーマディアデー(第3水曜日) スイミング(5歳児)、えいごであそぼう・スポーツ教室(3・4・5歳児)、文字、和太鼓(5歳児)	月例	遊びにいらっしやい! にこにこ広場(子育て支援)第2・4月曜日 園庭開放(月・水・土) ぴかぴか住吉活動
随時	園外保育、保護者会役員会、楽カラ弁の日、砂場・植木・園舎内消毒 フッ化物洗口、エコ活動(ペットボトルキャップリサイクル活動) 食育活動(クッキング他)	随時	ボランティア受入れ・実習生受入れ ・地域回覧板 ”保育園からこんにちは”発行 子育て支援(児童館と連携して)

職員に関する事項

月例	全体職員会、リーダー会(月曜日)、腸内菌検査、園舎内外の安全点検
随時	研修報告会、自主研修、園内外研修参加、法人内研修会参加、法人内イベント参加、職員健康診断、職員旅行、地域のゴミ拾い(ぴかぴか住吉活動) ＜保育園イベント活動＞ お花見歓迎会、クリスマス忘年会、福をよぶ豆まき大会、卒園・修了懇親会、年代別交流 ＜働き方改革をすすめる活動＞ 副主任・専門リーダーを中心に働き方等について検討する。(定期的に)

利用定員 70 人 内訳 2号定員(3～5歳) 43 人 3号定員(1.2歳) 22 人 3号定員(0歳) 5 人

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分 (11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
	保育短時間	午前8時00分～午後4時00分 (8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4時～5時

地域子ども・子育て支援事業 ・ 延長保育事業 ・ 一時保育事業 ・ 育児相談 ・ 学童保育 ・ 子育て支援にこにこ広場

施設整備 ・園舎内外各所修繕・補修・整備 ・エアコン分解洗浄

< 広原保育園 >

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の福祉ニーズへの対応と事業存続のために未来志向で事業の多角化・多機能化を図ります 2. BCPに基づく訓練を行い、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にして見直しを行います 3. 役職員に対する社会福祉関係法令、労務関連法令、虐待防止法等の適切な理解を促す場の提供に努め、社会的ルールの遵守の重要性を普及・啓発を行います 4. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取り組みを行います 5. リスクマネジメント体制を構築する等組織的に福祉サービスの質の向上に取り組みます 6. サービス提供の標準マニュアル(業務の手順)を策定し、職員に周知するとともに、定期的に見直しもを行います 7. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用に関する必要な知識を有するよう努めます 8. 適切な収益性の確保に向け、将来を見通した計画的かつ効率的な事業運営を行います
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取り組み ・ 地域の安全・安心への取り組み ・ 地域の困難事例への取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内でセーフティーネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 地域共生社会の実現を主導することが社会福祉法人の役割であることを認識できるよう取り組みます 3. 福祉サービスを提供する施設として、近隣住民の理解・協力が得られるよう、日常的なコミュニケーションを図ります 4. 災害支援等、行政との適切な連携のもと、災害時における協定を締結します 5. 災害時において地域住民が直面する生活課題・福祉課題への対応を想定した体制を平時から構築します 6. 保育所における障害児の受け入れや、入所施設における課題の多い家族のいる利用者の受け入れなど、経営する社会福祉事業において、困難事例に積極的に取り組みます
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、かつ維持していくための組織風土づくりの重要性を認識する機会を設け、関連する取り組みを行います 2. 風通しの良い職場の人間関係の構築、維持に努めます 3. 多様な職種、勤務形態の職員が相互に連携を図れるよう取り組みます 4. ワークライフバランス(仕事と生活の両立)に配慮した取り組みを行います 5. 時間外労働の管理、有給休暇の取得の促進などを適切に行います 6. 法人の経営理念や期待する職員像を明示し、目標等に基づいた人材育成に関する方針を明確にし、研修を一元的に推進する体制の整備等、その方法を確立します。 7. 管理職や指導的職員のリーダー層の育成を重視し、育成に取り組みます 8. 業務効率化のための環境整備(ICT等の活用)を図ります 9. 生産性向上を図るための課題認識を職員と共有し取り組みを行います(休憩時間の確保・業務内容や流れの見直し等)

行事予定

月	広原保育園行事	月	地域行事等
4月	入園・進級おめでとう遠足、交通安全指導	4月	
5月	芋の苗植え、個人面談	5月	こいのぼりふれあい広場(祖父母交流) 青島の旅(姉妹園交流)
6月	ふれあい保育参観日&さくらのお店、防災訓練	6月	
7月	プール開き、星の子祭り	7月	さくらの夕べ(1年生交流)
8月	プール納め、夏のお楽しみ会	8月	
9月		9月	いこいの家との交流会
10月	ふれあい運動会、芋掘り	10月	
11月	みかん狩り遠足(4・5歳児)、七五三詣り(廣原神社)	11月	廣原神社例大祭参加、住吉地区総合文化祭参加
12月	楽しい発表会、もちつき会、クリスマス会、招待お茶会、イルミネーション点灯式	12月	エンゼルホームとの交流会
1月	お正月伝承遊び会、総合防災訓練、保育参観週間	1月	
2月	豆まき会、記念撮影、動物園遠足、お買い物体験(5歳児)	2月	日章学園との合同避難訓練、小学校見学(住吉小学校)
3月	ひなまつり会、卒園お茶会(5歳児)、お別れ会、思い出の旅(5歳児)、卒園式、修了式	3月	
月例	お誕生会、防災訓練、お弁当の日、身体計測、お茶会(5歳児)・・・月1回 英語で遊ぼう(2・3・4・5歳児)・・・月2回、お歌で遊ぼう(3・4・5歳児)・・・月2回 運動遊び(2・3・4・5歳児)・・・月4回、スイミング(3・4・5歳児希望者)・・・月2回 お絵かきの日(2・3・4・5歳児)・・・月1回、文字のおけいこ(5歳児)・・・3ヶ月間(8回) 竹太鼓・獅子舞の日(5歳児)・・・月2回	月例	
随時	園外保育、クッキング教室、健康診断(年2回)、歯科検診(年1回) 尿検査(年1回)、絵本貸出	随時	ボランティア・実習生受け入れ 施設訪問

職員に関する事項

月例	職員会、給食検討会、腸内菌検査、遊具安全点検、お茶会参加
随時	職員健康診断、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、園内研修参加、各種研修参加、職員旅行、職員親睦会 地区祭り文化祭打合せ会参加、地域ゴミ拾いボランティア、個人面談

利用定員 60 人 内訳 2号定員(3～5歳) 38 人 3号定員(1.2歳) 16 人 3号定員(0歳) 6 人

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分 (11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
	保育短時間	午前8時00分～午後4時00分 (8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4～5時

地域子ども・子育て支援事業 ・延長保育事業 ・一時保育事業 ・障がい児保育事業 ・育児相談 ・学童保育事業(自主)

施設整備 ・パソコン・タブレット購入 ・園内外修繕整備 ・以上児用椅子購入 ・照明追加工事

< 住吉東保育園 >

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. BCPに基づく訓練を行い、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にして見直しを行います 2. 国や地域の将来を考慮し、社会福祉法人としてのミッションとビジョンに基づいて事業の将来性・継続性を見通した経営に務めます 3. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 4. 役職員に対する社会福祉関係法令、労務関連法令、虐待防止法令等の適切な理解を促す場の提供に努め、社会的ルールの遵守の重要性を普及・啓発を行います 5. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 6. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取組みを行います 7. 虐待・身体的拘束など決して容認せず、根絶するための取組みを行います 8. 業務マニュアルの整備や、可能なものの業務の標準化共有化を図り、全職員に周知・教育し運用します 9. 現状の課題把握、見直し等随時行います 10. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用等に関する必要な知識を有するよう努めます
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取組み ・ 地域の安全・安心への取組み ・ 地域を活性化する取組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内外でセーフティーネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 地域共生社会の実現を主導することが社会福祉法人の役割であることを認識できるよう取組みます 3. 地域における交易的取組を整理し、地域のニーズとマッチしているか確認します 4. 福祉サービスを提供する施設として、近隣住民の理解・協力が得られるよう、日常的なコミュニケーションを図ります 5. 災害時の取組みとしての地域の避難場所の確保や、備蓄食の充実の取組みを行います 6. 地域のごみ拾いを継続して行います 7. 地域の行事に参加し、地域とのつながりや活性化に貢献します 8. 地域の会議に参加し地域の関係機関との連携を深め、情報収集を行い保護者支援に努めます
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、かつ維持していくための組織風土づくりの重要性を認識する機会を設け、関連する取組みを行います 2. 風通しの良い職場の人間関係の構築、維持に努めます 3. ボランティア実習生の受け入れを積極的に行います 4. ハラスメント関係規定を整備し、職員への・教育の実施・相談窓口担当者の教育を行いながら防止策を講じます 5. ワークライフバランス(仕事と生活の両立)に配慮して取組みを行います 6. 様々な能力を生かせる職場づくりに取組みます 7. 職員の研修・教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 8. リーダー間の連携を密にし意識向上のできる体制づくりを行います 9. 現在の業務内容、流れを見直し協力体制づくりに取組みます

行事予定

月	住吉東保育園 行事	月	地域行事等
4月	入園 進級おめでとう会、親子遠足	4月	
5月	すくすくtime(個人面談)	5月	青島めぐり旅(姉妹園交流)
6月	親子ふれあい参観日、すくすくtime(個人面談)、交通安全教室 ひがしっこ運動会	6月	
7月	プール開き、夏のおたのしみ会	7月	
8月	夏のお楽しみ会	8月	住吉地区夏祭り
9月	祖父母交流会、十五夜	9月	敬老会(すみよし)
10月	DAYキャンプ 秋の親子遠足	10月	芋掘り交流(すみよし)
11月	七五三詣り、シェイクアウト訓練 みんなの発表会	11月	
12月	クリスマス会	12月	クリスマス交流会(すみよし)
1月	保育参加週間	1月	
2月	豆まき、小学校訪問、コスモランド教室	2月	豆まき交流(すみよし)
3月	ひなまつり会、お別れ会、お別れ遠足、卒園・修了式	3月	
月例	誕生会、防災訓練、身体測定、和太鼓(4・5歳児)、英語(3・4・5歳児) スポーツ教室(3・4・5歳児)、スイミング(4・5歳児希望者)、食育活動	月例	地域・すみよしとの交流、育児支援、地域子育てサロン保育
随時	健康診断(年2回)、尿検査、歯牙健診、園外保育、エコ活動 食育(野菜づくり)、硬筆指導、クッキング(春・夏・秋・冬)	随時	育児支援(地域活動)、地域支援 ボランティア・実習生受入れ

職員に関する事項

月例	職員会議、給食会議、リーダー会、遊具・園内安全点検、職員腸内細菌検査、食物アレルギー会議
随時	職員健康診断、園内研修参加、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、職員旅行、自主研修

利用定員

80 人	内訳	2号定員(3～5歳)	49 人	3号定員(1.2歳)	25 人	3号定員(0歳)	6 人
------	----	------------	------	------------	------	----------	-----

保育時間

標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4～5時

地域子ども・子育て支援事業

- ・ 延長保育事業
- ・ 一時預かり保育事業
- ・ 障がい児保育事業
- ・ 育児相談事業

施設整備

- ・ 園内外各所修繕整備
- ・ 高圧受変電引込み設備更新工事
- ・ 送迎用駐車場土地購入

＜ 富 吉 保 育 園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重 点 課 題	具 体 的 取 り 組 み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国や地域の将来を考慮し、社会福祉法人としてのミッションとビジョンの基づいて事業の将来性継続性を見通した経営に努めます 2. BCPに基づく訓練を行い、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にして見直しを行います 3. 研修に積極的に参加するなど経営者が遵守すべき法令、社会的ルールの変更について情報収集を行います 4. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 5. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し利用者の尊厳を尊重し個人の尊厳を守ります 6. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取組みを行います 7. 業務マニュアルの整備や、可能なものの業務の標準化共有化、効率化を図り、全職員に周知・教育し運用します 8. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用等に関する必要な知識を有するように努めます 9. 職員に対してコストの意識を醸成するための取組みを行います
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取組み ・ 地域の安全・安心への取組み ・ 地域を活性化する取組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内外でセーフティーネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 民生委員や自治会長と話し、地域のニーズを把握します 3. 地域共生社会の実現を主導する事が社会福祉法人の役割であることを認識できるよう取り組みます 4. 園庭開放や子育て相談、高齢者施設や学生との交流等により、地域全体の子育て力の向上を図ります 5. 地域をまわり、危険個所の把握や立地条件等を確認します 6. 災害時、備蓄の提供や防災備蓄、警察・消防等と連携し見守り活動を通して地域の防犯・防災意識を高め子供たちの安全を守ります 7. 地域のお祭り・敬老会等に参加し交流を深めます 8. 地域のゴミ拾いを年長児と職員が一緒に行い地域の方と挨拶を交わすことにより交流に繋がります (また、職員だけの地域清掃活動にも取り組みます) 9. 法人、園の様々な取組みの様子を回覧板やHP・ポスター等PR方法を広げ、周知を図ります
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、かつ維持していく為の組織風土づくりの重要性を認識する機会を設け、関連する取組みを行います 2. 風通しの良い人間関係の構築の維持に努めます 3. ハラスメントの防止策、対応策を周知し職員教育を行い、上司に相談しやすい雰囲気を作ることで、早期発見・早期解決に繋がります 4. ワークライフバランス(仕事と生活の両立)に配慮した取組みを行います 5. 休憩時間の体制づくりをみんなで考え、より工夫し取り組みます 6. 毎日のラジオ体操を推奨し、職員の健康維持、事故防止に取り組みます 7. 職員の研修・教育を充実させ、様々な能力を生かせる職場づくりに取り組みます 8. 主任・副主任が連携し次に続く職員と役割の確認をしていきます 9. 環境整備 (ICT等の活用) や年間行事の内容を見直し、更なる業務の効率化に努めます 10. 業務内容・流れを見直し、役割分担しながら協力体制づくりに取り組みます

行事予定

月	富吉保育園 行事	月	地域行事等
4月	入園・進級式、動物園に行こう(3.4.5歳児)	4月	
5月	みんなの運動会、芋の苗植え	5月	
6月	保育参加日	6月	
7月	プール開き、夏祭り、交通安全教室	7月	小学校の話を聞こう(卒園児1年生交流)
8月	プール納め	8月	
9月	総合防災訓練 クッキング、祖父母交流(5歳児)	9月	富吉地区敬老会参加(5歳児)
10月	芋掘り、秋の遠足(親子遠足)	10月	
11月	みんなの発表会、七五三詣り(富吉神社)、シェイクアウト	11月	生目地区文化祭参加(5歳児)
12月	クリスマス会、クッキング	12月	
1月	保育参観週間	1月	
2月	豆まき、記念撮影、空港探検	2月	
3月	ひなまつり会、お別れ会、卒園・修了式	3月	年長児思い出の旅(生目地区一回り) 小学校訪問(5歳児)
月例	お誕生会、防災訓練、お弁当の日、身体計測、えいごであそぼう(4・5歳児)・・・月2回 和太鼓(5歳児)・・・月2回 体育遊び(3・4・5歳児)・・・月2回、スイミング(4・5歳児希望者)・・・月2回	月例	子育て支援(随時) 園庭開放
随時	園外保育、クッキング教室、健康診断(年2回)、歯牙検診(年1回)、尿検査(年1回) 文字のおけいこ(5歳児・・・3ヵ月)、絵本の貸出、食育活動(野菜づくり) エコチャレンジ活動、消防点検・衛生害虫駆除	随時	ボランティア・実習生受け入れ 園だより地域版回覧

職員に関する事項

月例	職員会・リーダー会、給食検討会、腸内菌検査、遊具安全点検
随時	職員健康診断、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、園内研修参加、各種研修参加、職員旅行、職員健康診断、職員親睦会 地区祭り文化祭打合せ会参加、地域ゴミ拾いボランティア、個人面談、地域ケア会議、幼保小連携会議

利用定員 45 人

内訳	2号定員(3～5歳)	30 人	3号定員(1.2歳)	12 人	3号定員(0歳)	3 人
----	------------	------	------------	------	----------	-----

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
	保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4時～5時

地域子ども・子育て支援事業 ・延長保育事業 ・一時保育事業 ・障がい児保育事業 ・育児相談 ・学童保育事業(自主)

施設整備 ・園内外各所修繕補修 ・ワックスかけ ・一眼レフカメラ購入

＜住吉南保育園＞

方針に沿った取組み

方針	重 点 課 題	具 体 的 取 り 組 み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の福祉ニーズへの対応と事業存続のために、未来志向で事業の多角化・多機能化を図ります 2. BCPに基づく訓練を行い、災害が引き起こす現象を想定し課題を明確にして見直します 3. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知教育し運用します 4. 役職員に対する社会福祉関係法令、労務関連法令、虐待防止法等の適切な理解を促す場の提供に努め社会的ルールの遵守の重要性を普及・啓発を行います 5. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 6. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取り組みを行います 7. 業務マニュアルの整備や、可能なものの業務の標準化共有化を図り、全職員に周知・教育し運用します 8. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用等に関する必要な知識を有するよう努めます 9. リスクマネジメント体制を構築する等組織的に福祉サービスの質の向上に取り組みます 10. 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取り組み ・ 地域の安全・安心への取り組み ・ 地域を活性化する取り組み ・ 地域から信頼される情報発信 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内でセーフティネットについて、周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. 地域における公益的取り組み等を整理し、地域のニーズとマッチしているか確認します 3. 福祉サービスを提供する施設として、近隣住民の理解・協力が得られるよう、日常的なコミュニケーションを図ります 4. 生活困窮者や児童虐待・DVなど、早期発見できるよう意識の向上や研修に積極的に取り組みます 5. 園庭開放をして、同年齢の子どもたちとの交流や子育て中の保護者のリフレッシュの場を作ります 6. 保育実習・小中学校の職場体験等の受け入れ機会を充実させ、保育士の仕事の魅力を発信していきます 7. 災害時における備蓄品を充実させ、地域住民にも明確に周知します 8. 地域のゴミ拾いや清掃を行いながら、危険個所に気づき地域と連携を図ります 9. 地域回覧の園だよりで園内の活動をお知らせし、理解を求めます 10. 嘱託医や関係機関との連携を図りながら、子ども達の健やかな育ちを推進します
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、かつ維持していくための組織風土づくりに取り組みます 2. 風通しの良い職場での人間関係の構築、維持に努めます 3. ハラスメント関係規程を整備し、職員への周知・教育の実施、相談窓口関係者の教育を行いながら防止策を講じます 4. ワークバランス(仕事と生活の両立)に配慮した取り組みを行います 5. 休憩時間を共通理解のもとで有効に使えるよう職員間で話し合いながら工夫します 6. 職員の研修・教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 7. 様々な能力を生かせる職場づくりに取り組みます 8. 管理職や指導的職員の育成に取り組み、組織づくりに努めます 9. 新任研修をプログラムに沿って計画的に行うとともに、全職員の学び・振り返りの機会として充実を図ります 10. NO残業を目指し、協力しながら働きやすい環境づくりに努めます 11. 職員間で多様化や価値観を認め合う取り組みを実施します

行事予定

月	住吉南保育園行事	月	地域行事等
4月	入園・進級おめでとう親子遠足、花見ランチ・野菜の種まき	4月	
5月	花しょうぶ遠足、園児健康診断(以上児・未満児)、保護者面談(全世帯)、交通安全教室	5月	
6月	歯科健診、保育参観週間、プール掃除	6月	
7月	プール開き、みなみまつり	7月	みなみまつり(1年生交流)
8月	広原児童プール、プール納め	8月	
9月	祖父母交流(5歳児)、お月見クッキング	9月	
10月	みなみっこ運動会、芋ほり交流、自衛消防訓練(通報訓練)	10月	芋ほり交流(すみよし)
11月	園児健診(以上児・未満児)、七五三詣り		県民一斉シェイクアウト訓練
12月	みんなえがお発表会、コスモランド、お餅つき、クリスマス会	11月	お仕事ご苦労様訪問(九州保安協会・派出所)
1月	鏡開き、保育参観週間	12月	小学校訪問(1年生との交流)
2月	豆まき、春待ちウォーキング	1月	
3月	ひなまつり会、お別れ会、卒園式、修了式 自衛消防訓練(津波訓練)、就学前交通安全指導	2月	
		3月	
月例	誕生会、身体測定、防災・防犯訓練、弁当の日、スイミング(4、5歳児) 英語であそぼう・おうたの広場(3、4、5歳児)、スポーツ教室(2、3、4、5歳児) 硬筆(5歳児・1～3月)、園児美化活動(史跡公園見守り隊)	月例	園だより回覧
随時	園外保育、クッキング、絵本貸出、歯科検診、健康診断(年2回)、パンアカデミー フッ化物洗口(4・5歳児)、尿検査	随時	朝のラジオ体操、ボランティア・実習生受入れ、保護者交流、園庭開放 お誕生日訪問、おひさま広場(子育て支援)年4回

職員に関する事項

月例	職員会(リーダー会・チーム会)、給食会議、職員腸内菌検査、安全点検、園内研修、清掃(担当場所・全体)
随時	園内外研修参加、法人内外研修参加、研修報告、法人内イベント参加、環境美化清掃、職員健康診断、職員旅行

利用定員 90 人 内訳 2号定員(3～5歳) 53 人 3号定員(1.2歳) 32 人 3号定員(0歳) 5 人

保育時間	標準時間	延長保育時間
	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	午後6時～7時
	保育短時間 午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間 午前7時～8時、午後4時～5時

地域子ども・子育て支援事業 ・延長保育 ・一時預かり保育 ・障がい児保育 ・育児相談 ・学童保育 ・園庭開放 ・おひさま広場

施設整備 ・室内外補修工事 ・電話機の交換工事 ・せんだんの木剪定

< 児童養護施設 みんなせいかん >

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される施設	<ul style="list-style-type: none"> 経営計画の策定 コンプライアンス教育の徹底 職員に対する倫理教育の充実 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人としてのミッションとビジョンを共有し、事業の目標を数値化した経営に努めます 2. 災害が引き起こす現象を想定した、BCPに基づく訓練を行い、課題等を明確にして見直しを行います 3. 年一回コンプライアンス体制に関する研修を実施し、教育・見直しを行います(参加率100%目標) 4. 倫理綱領・行動規範を年2回、全職員と共有・周知・徹底する場を設け利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 5. 子どもの権利やプライバシー尊厳に関する研修を継続的に実施することで、職員間での牽制強化、又振り返る機会を設け早期発見対応に努めます 6. 業務マニュアルの整備・見直しを行い、可能なものの業務の標準化共有化を図り、全職員に周知・教育し運用します 7. ヒヤリハットや事故報告等の原因・改善点を明確化して職員と児童で共有し、福祉サービスの質の向上に取り組みます 8. 会計責任者及び担当者が、社会福祉法人会計基準用に関する必要な知識を有するように努めます 9. 定員充足率や措置費の動向を踏まえ、将来のを見通した効率的な事業運営に努めます 10. 職員に対してコストの意識を醸成するために日々の節減ポイントを具体的に話し合う機会を設けて取り組みを行います
地域に根ざす施設	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会に対する生活困窮者支援 地域を包括する公益的な取り組み 地域の安全・安心への取り組み 地域の多様なニーズを把握できる体制整備 地域との密接な関係と福祉に対する理解促進 	<ol style="list-style-type: none"> 1. みやぎき安心セーフティネット事業について周知・理解を深め、CSWを中心に地域の方々の支援に繋がります 2. FSWを中心に各機関と連携しながら、子育てに悩む家庭に対して相談と家庭訪問を行う等、支援を実施します 3. 地域共生社会の実現に向けて、より多様なニーズに対応できるよう市要対協へ出席し、他機関と連携・協働に努めます 4. 檜地区社協と協働し、地域のニーズを把握し安心安全のための支援を行います 5. 施設・園庭解放を実施し、近隣住民と日常的なコミュニケーションを図ります 6. 登下校時の見守り活動や子ども110番として、地域の子どもの安心して駆け込める環境に努めます 7. 地域小規模の将来像、あり方を見直し、住宅環境を視野に入れて検討していきます 8. 地域住民が集まり交流する場を提供し、ママカフェや子育てサロン等で子育ての悩みの共有やつながりを深めます 9. 広報誌やSNSを活用し、施設に対する理解・福祉への関心を促進します 10. 地域と触れ合う事のできる行事等を年2回以上実施又は地域行事へ参加し、地域住民との相互理解を深めます
組織力のある施設	<ul style="list-style-type: none"> 福祉人材の確保・定着 職員の健康と安全確保 人材育成制度の構築 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、日頃から意見交換や相談がしやすい環境を整えていきます 2. 職員の多様化した背景や価値観を互いに尊重し合い、それぞれの強みを活かせる職場づくりに努めます 3. 毎日、ラジオ体操を継続し、定期的にメンタルヘルスに関する研修とセルフケアの啓発を行います 4. 研修後には報告会や復命書を通じて学びを共有し、得られた知識や気づきを日々の支援や業務改善に反映させます 5. 個々のキャリアに応じた研修を充実させ、職員全体のスキルアップに努めます 6. 採用3年未満(とくに1年未満)の職員に対するフォローアップをリーダー層・OJT担当者と共有し意図的・計画的に行っていきます 7. キャリアアップを明確にし、職員一人ひとりが自己分析できフィードバックを受ける取り組みを行います 8. 主任・リーダー層の役割と責任を整理した上で、実践を通してリーダーシップを育成していきます 9. 業務手順を見直し、ICTの導入・活用によって業務の標準化・効率化を進めます 10. 適度な休憩とリフレッシュの場を意図的に設けることで生産性の向上につなげます

行事予定

月	児童養護施設 みんなせいかん	地域小規模児童養護施設 みらいえ	月	地域行事等
4月	入園・入学おめでとう会	おめでとう会	4月	前浜自治会総会 前浜さくらまつり
5月	子どもの日レクリエーション 児童と職員の旅行	子どもの日レクリエーション 旅行	5月	地域防災訓練 子育てサロン(憶地区社協)
6月	総合防災訓練、幼児健康診断	総合防災訓練	6月	市民一斉清掃
7月	七夕、夏まつり	七夕・夏祭り	7月	海の日イベント 子育てサロン (憶地区社協)
8月	一時帰省、サマーメモリー	サマーメモリー	8月	
9月	十五夜、先輩に学ぶ	キャンプ	9月	地域防災訓練、敬老会 子育てサロン (憶地区社協)
10月	秋休みレクリエーション、児童健康診断 収穫祭	秋の収穫祭	10月	子育てサロン (憶地区社協)
11月	総合防災訓練、七五三、みんなせいかんフェスタ(地域交流) シェイクアウト訓練	総合防災訓練	11月	地域合同防災フェスタ 市民一斉清掃
12月	クリスマス会、大掃除、一時帰省、餅つき	クリスマス会・餅つき・大掃除	12月	子育てサロン(憶地区社協)
1月	初詣、ウインターメモリー	ウインターメモリー	1月	
2月	節分豆まき	節分・バレンタインデー	2月	子育てサロン(憶地区社協)
3月	ひなまつり、送る会	ひな祭り、送る会	3月	
月例	防災訓練、発育測定、調理実習、ユニット児童会、生きるカプログラム、和太鼓、安全教育、心理療法、個別対応、食育活動(野菜作り等)		月例	前浜公民館清掃、 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校行事
随時	担当レクリエーション、嗜好調査、ボランティア招待レクリエーション、誕生会、旅行、ふれあい家庭事業、暴力アンケート、生活アンケート、調理実習、全体児童会、自立訓練		随時	地域清掃、憶地区地域まちづくり推進委員会行事 憶地区社会福祉協議会行事、ボランティア・実習生受入れ

職員に関する事項

月例	職員会議・調和会、献立作成会議、ケース研究、腸内菌検査、小グループ会議、施設内外安全点検	宮崎市要保護児童対策地域協議会
随時	小学生教育支援委員会、宮崎県児童福祉施設協議会会議・専門委員会・健康診断・施設内外研修	

定 員 30人 (本体施設25名 地域小規模みらいえ5名)

事業について ・宮崎市子育て短期支援事業 ・みやざき安心セーフティネット事業(生計困難者に対する相談支援事業)

施設整備 ・施設内外各所修繕補修 ・大型電気式乾燥機 ・大型全自動水洗機 ・みらいえ園舎購入

< 救護施設 す み よ し >

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営計画の策定 ・ コンプライアンス教育の徹底 ・ 職員に対する倫理教育の充実 ・ 法人内の事業種別マニュアル等の統一・体制づくり ・ 会計に関する十分な体制の整備と財務基盤の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の福祉ニーズへの対応と事業存続のために未来志向で事業の多角化・多機能化を図ります 2. BCPに基づく訓練を行い、停電・断水・道路の寸断など災害が引き起こす現象を想定し連絡・参集方法等の課題等を明確にして見直しを行います 3. コンプライアンス体制に関する教育・見直しを行い、全職員に周知・教育し運用します 4. 役職員に対する社会福祉関係法令、労務関連法令、虐待防止法等の適切な理解を促す場の提供に努め、社会的ルール遵守の重要性について普及・啓発を行います 5. 倫理綱領・行動指針を全職員に周知・教育し、利用者の人権を尊重し個人の尊厳を守ります 6. 差別やハラスメントを防止し、多様性や価値観を認め合う取り組みを行います 7. リスクマネジメント体制を構築する等組織的に福祉サービスの質の向上に取り組みます 8. 業務マニュアルの整備や、可能なものの業務の標準化・共有化を図り、全職員に周知・教育し運用します 9. 福祉サービス提供における事故やミスの未然防止、再発防止に取り組みます 10. 職員に対してコストの意識を醸成するための取り組みを行います 11. 適切な収益性の確保に向け、将来を見通した計画的かつ効率的な事業運営を行います
地域に根ざす施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会に対する生活困窮者支援 ・ 地域を包括する公益的な取り組み ・ 地域の安全・安心への取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内外でセーフティネットについて周知・理解を深め、地域の方々の支援に繋がります 2. セーフティネットとしての役割りを果たすために、関係機関や他法人との連携を推進し情報収集に努めます 3. 地域共生社会の実現を主導することが社会福祉法人の役割であることを認識できるよう取り組みます 4. 地域における公益的取り組み等を整理し、地域のニーズとマッチしているか確認します 5. 福祉サービスを提供する施設として、近隣住民の理解・協力が得られるよう、日常的なコミュニケーションを図ります 6. 障がいを持つ方々の生活支援・自立支援の役割を担った障がい者グループホームを設置します 7. 住居支援を必要とする生活困窮者のために無料低額宿泊所を設置します 8. 災害時の取り組みとして、地域の災害支援拠点や福祉避難所の取り組みへの備え等、地域住民の安全・安心な生活の確保に努めます 9. 防災士の取得を奨励します
組織力のある施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材の確保・定着 ・ 職員の健康と安全確保 ・ 人材育成制度の構築 ・ リーダー層の育成 ・ 生産性向上の取り組み 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 風通しの良い職場の人間関係の構築、維持に努めます 2. 多様な職種、勤務形態の職員が相互に連携を図れるよう取り組みます 3. 採用(転入)後1年未満の職員に対するフォローアップを意図的、計画的に行います 4. ワークライフバランス(仕事と生活の両立)に配慮した取り組みを行います 5. 労働災害防止策(メンタルヘルス、腰痛防止策、その他労働災害への対応)を講じます 6. 上司に相談しやすい雰囲気をつくることでハラスメントの早期発見・早期解決に繋がります 7. 職員の研修・教育を充実させ、常に次世代の経営層を育成します 8. 様々な能力を生かせる職場づくりに取り組みます 9. 業務効率化のための環境整備 (ICT等の活用)を図ります

行事予定

月	救護施設 すみよし 行 事	月	地 域 行 事 等	
4月	花見	4月	住吉神社子ども神輿受け入れ	
5月	施設外レクリエーション	5月		
6月	ハイキング(市民の森)	6月		
7月	法要	7月		
8月	なんでも相談	8月		
9月	敬老祝賀会、幼稚園慰問受け入れ	9月		
10月	保育園合同芋掘り、ドライブレク	10月		
11月	秋祭り	11月		住吉福祉まつり
12月	クリスマス会、日帰り旅行	12月		
1月	初詣、安全祈願祭	1月		
2月	なんでも相談	2月		
3月	春レク	3月		
月例	防災訓練、自治会	月例		
随時	法要、健康診断、レク活動、各種クラブ活動、施設内映画鑑賞、移動式理美容、茶話会 実習生・ボランティア受け入れ	随時	自治会行事参加、地域ボランティア活動、保育園行事参加 利用者就労先行事参加	

職員に関する事項

月例	職員会議、災害対策委員会、リスクマネジメント委員会、権利を守る委員会、行事企画委員会、給食会議、看護師会議、腸内細菌検査、ノー残業デー実施
随時	感染対策委員会、入所判定委員会、ハラスメント防止委員会、OJT委員会、業務改善委員会、ケース検討会議、ハラスメントセルフチェック、職員ストレスチェック 自己評価、リスクマネジメントセルフチェック、権利を守るセルフチェック、法人内外研修、OJT研修、新任研修、研修報告、シェイクアウト訓練、AED講習 健康診断、職員旅行、ファミリーデー実施、広報誌発行、法人内各種委員会・担当者打合せ会、法人内イベント参加

定 員 82 名

事業について

- ・一時入所事業 … 生活困窮者等に対して緊急一時保護等を行います
- ・居宅生活訓練事業 … 訓練用住居を利用し、より地域生活に近い環境で実体験的に生活訓練を行うことで、地域生活への移行を支援します
- ・みやざき安心セーフティネット事業 … 宮崎県社会福祉協議会等と連携し、生活困窮者等に対して相談支援や経済的援助を行うことで自立を支援します
- ・生活困窮者就労訓練事業 … 宮崎市自立相談支援センターと連携し、就労経験の少ない方や柔軟な働き方が必要な方に対して作業体験の場を提供することで一般就労に繋がります
- ・居宅訪問事業 … 施設退所者や生活保護脱却後の人等へのフォローアップを行います

施設整備 ・土地購入 ・エアコン取替 ・高圧引込設備更新工事 ・冷凍庫、冷蔵庫買換 ・食器洗浄機買替 ・食器乾燥機